

広告 企画 朝日新聞社メディアビジネス局

# てんかん

## 進歩する治療法と求められる理解

てんかんは日本に約100万人の患者が存在する発生頻度の高い疾患で、その症状は多様です。近年、副作用の少ない新薬や、難治性てんかんに対するより低侵襲な手術法の登場などによって、治療の選択肢が増えています。そこで、鹿児島大学病院脳神経外科てんかんセンターのセンター長である花谷亮典氏に、てんかんとはどういう病気なのか、またその治療法などについて伺いました。

### 全国には100万人のてんかん患者が 症状も多岐にわたり難しい診断

てんかんは、脳の神経細胞が持つ規則正しいリズムが崩れ、異常な興奮が生じることで、様々な身体・精神症状となって現れる病気です。多くの方はてんかんと「けいれん」をイメージするかもしれませんが、これは数ある症状の中の一つです。また、その原因は脳梗塞や脳腫瘍の様な明らかな脳の病気から、はつきりとした原因がわからないものまで様々です。

てんかんは症状によって、部分発作と全般発作に大きく分けることができます。部分発作は、てんかん発作の原因となっている脳の部位(てんかん焦点)の予測がつくもので、意識がしっかりしているものを単純部分発作、ボーっとして周りのことが分からなくなるような意識障害を伴うものを複雑部分発作といいます。単純部分発作の症状は、手足や顔がこわばる、物がゆがんで見える、頭痛や吐き気など非常に多彩です。複雑部分発作は本人がなかなか気づきにくいため、周囲の人が気づいてあげることが大切です。発作の前に、胃がムカムカする、などとはなして不安感や恐怖感が継続する等の単純部分発作が先行することもあります。一方、全般発作は、症状だけみるとてんかん焦点がはつきりせず、いかにも脳の広い範囲が興奮したように見える発作のことです。また、部分発作から始まり大きなけいれんを起こす全般発作(二次性全般化発作)に進展することもあります。

てんかんの有病率は1%弱程度で、子どもと高齢者に多いのが特徴です。今後、高齢化が進むにつれ、高齢者のてんかん、中でも複雑部分発作はさらに増えるものと予想されます。

### 副作用の少ない新薬も登場し 広がる治療の選択肢

てんかんは他の病気と違って、医師が患者さんの症状を実際に目にする機会はほとんどありません。そのため、てんかんの治療は患者さんの発作を正しく診断し、確かな根拠を持って始めることが大切です。

てんかんの治療の基  
本は薬物療法です。  
最近では副作用の少ない薬や、様々な発作型に有効な薬、妊娠・出産を希望する女性に対して抗てんかん薬による催奇形性奇形を生じさせ

る性質が以前より少ない薬も登場しています。患者さんの約7割は薬でのコントロールが可能です。

発作を完全に止めることができない残りの3割の中には、非常に難治な患者さんにもいます。そのような患者さんにも、ケトン食療法という食事療法や手術治療が有効な場合があります。手術によるてんかん焦点がはつきり分かっている場合は、手術によって焦点を切除することで、てんかん発作を抑えることが期待できます。また、転倒などの症状を和らげる緩和手術もあります。

最近では、手術で埋め込んだシステムを用いて、首の迷走神経を刺激して発作回数を減らし、症状を軽くする治療法も出てきています。これは、発作のタイプに関係なく効果が期待できます。

外科的に治るてんかんは、早い年代で治すことが基本です。社会に出る前に症状をコントロールできれば、社会にも適応しやすくなります。

### 「てんかんセンター」開設から5年 複数の診療科が連携して患者を治療

てんかんを担当する診療科は、小児科・神経内科・神経精神科・脳神経外科と多岐にわたります。「てんかんセンター」は、こうした診療科や看護部・検査部・薬剤部などの診療部門が協力して2013年に設立しました。センターができたことで、てんかんの患者さんを受け入れる窓口が一本化され、各科と連携しながらスムーズな診療が行えるようになりました。

てんかんはどなたにでも起こりうる病気です。高齢になると、血圧が上がるのと同じように、てんかん発作を起こす率は上がっていきます。てんかんの患者さんに理解ある社会となるためにも、まずはてんかんについて正しく理解していただくことが大切です。と思えます。(談)



鹿児島大学病院  
脳神経外科・てんかんセンター  
センター長  
花谷 亮典 氏

ひとり一人の生命を大切に、愛情・情熱・熱意をもって臨みます

## 医療法人 慈風会 厚地脳神経外科病院

理事長 厚地 正道  
院長 高崎 孝二

月曜～土曜	受付	8:00～11:00	11:00～16:00
	診療時間	9:00～13:00	14:00～18:00
日・祝		休診	

所在地:鹿児島県鹿児島市東千石町4-13  
天文館より徒歩5～10分です。  
ザピエル公園の並びにあります。

☎099-226-1231

脳神経外科・神経内科・リハビリテーション科

医療法人 光竹会

## 大橋 脳神経外科 クリニック

短時間で撮影できる1.5T 超伝導MRI装置を導入しております。

福岡市南区大橋1丁目9-16 ☎092(511)5219  
西鉄天神大牟田線「大橋駅」徒歩1分

医療法人 光竹会

## 平尾 脳神経外科 クリニック

診療科目 脳神経外科  
診療時間 平日・土曜日/午前 9:30～12:30  
午後13:30～18:30  
※木曜は18:00まで 休診日 日曜日・祝日

福岡市南区大橋2丁目8-29  
TEL 092-534-5219  
http://www.kouchikukai.or.jp/hirao

医療法人 光竹会

## 脳神経外科 クリニック

診療科目 脳神経外科  
呼吸器内科  
リハビリテーション科  
診療時間 平日 8:30～12:00  
14:00～18:00  
土曜日 8:30～12:00  
休診日 日曜日・祝日

福岡県筑紫郡那珂川町山田1150-1  
TEL 092-951-5219  
http://www.kouchikukai.or.jp/clinic



## まつしまメンタルクリニック

院長 松島 道人

福岡市博多区博多駅東1-13-17松岡ビル2階  
☎092(432)6110  
http://www.matsushima-mc.com/

独立行政法人国立病院機構  
長崎川棚医療センター  
西九州脳神経センター

神経センター部長 戸田 啓介

長崎県東彼杵郡川棚町下組郷2005番地1  
☎0956(82)3121